

素敵な人生 素敵なパートナー



合志市男女共同参画推進懇話会委員
坂口 正子

春暖の候となり、出会いと別れの新しい生活を送られる人々もおられることでしょう。心うきうきとしてくる日々となりました（今年は幕開けから特に寒かったですね）。

わたしは、農業女性アドバイザーをしています。主に、家族経営協定の推進をしています。TPP問題、口蹄疫、鳥インフルエンザと、さまざまなことが心配されます。農業において厳しい状況の中、頑張っているところです。

わたしの家では、和牛繁殖経営を主人と長男と3人4脚でやっています。いかに効率よく、無駄を省き、仕

事ができるかを家族で話し合い、「自分ができることをする（役割分担）、一人ではできないことはお互いが補いあい協力する（共同）」としました。とても大切なことだと思っています。

家族経営協定の中で、休日、労働時間、給料制と取り決めることで、男性も女性も意欲を持って経営に参画できるのではないのでしょうか。

今、農業離れ、後継者不足と言われていますが、合志市には若い後継者の皆さんがおられ、頼もしく素晴らしいことです。素敵なパートナーとのめぐり合い、素敵な人生の歩み、家族や周囲の協力・理解・援助を受ける・・・。先行き不安な経済情勢もあるでしょうが、これから未来を担う若者に、合志の発展のため、地域に根ざした活動を期待します。

こうし 歴史発見!

第40回

合志市の今昔 その九 合志市御代志 (旧西合志町大字御代志)

御代志は本市のほぼ中央に位置し、東は栄、北は合生、西は野々島、南は須屋と接しています。

明治7（1874）年に灰塚村（現在の灰塚）と大池村（現在の大池、東大池、御代志・牧場・小池・若原）が合併して御代志村となり、32回に記したように明治22（1889）年に他の四力村と合併して西合志村大字御代志となりました。寛永10（1633）年の『人畜改帳』には大池村で29人、6戸で家数22軒、石高は101石余が知られていて、灰塚村で41人、家数37軒の記載があります。

明治15（1882）年には、95戸に485人が住んでおり、職業は農業が圧倒的で89戸、他には塩物店2戸、酒類受売3戸の記載があります。農耕用の馬95頭が飼育され、農作物では米92石、大豆60石、小豆6石、粟215石、蕎麦80石、小麦40石、裸麦15石、大麦40石、甘藷4万斤、蘿蔔（大根）5千斤、芋50斤、茶750斤、箱2百斤、栗2.5石、梨5荷、柿8百斤、梅2.5石、芋12貫、竹230束、



開拓碑(若原公民館)

他に繭5石、鶏卵3千個の生産がありました。（芋とは、植物繊維をとるための植物でラミーも同じ仲間）御代志の若原では、昭和17（1942）年に開拓が始まり、当初は『営団』と呼んでいましたが、後に『若原』と改称されました。面積約102町、当時の入植者は42戸、241人（県内と県外がほぼ半数ずつ）でした。昭和57年には、西合志町役場（現合志市役所西合志庁舎）が野々島から移転し、さらに御代志市民センター、西合志図書館、西合志郷土資料館などが相次いで建設され、旧西合志町の心臓部へと変化しました。若原地区は人口の急増地で、現在の戸数はおよそ900戸となり、現在もまだ住宅地が開発されています。平成21年11月末には、2,003世帯、4,943人となり、人口は明治15年に比べ10倍強になりました。文化財には、縄文時代の笹山・丸山遺跡、志水遺跡（時期不明）が知られていますが、この地域は水を得にくく、古代には人々が住むのに好適でなかったことから遺跡も少ないようです。

人権よまやま話

春号



人権擁護委員
桑原 典恵

春。新年度を迎え、わたしたちの暮らしの中では、学校で、職場で、ご近所であくさんの新しい出会いがあります。

人権擁護活動に携わっていると、人々の出会いによって起こるさまざまな問題や悩みに行き当たりま

す。昨年10月に再編発足した阿蘇大津人権擁護委員協議会には「子ども人権部会」、「男女共同参画社会推進部会」、「社会福祉部会」の3つの部会があり、委員全員がいずれかの部会に所属し、活動しています。

わたしが籍を置く「男女共同参画社会推進部会」では、活動の一つとして寸劇による啓発を行っています。生活の中の男女間の不平等、不公平を熊本弁で演じ、身近なこととして意識し、考えてもおおうというものです。2年ほど

前には、ヴィーブルで『暮らしの中の人権』という寸劇を上演しました。この劇は、全く家事をしない夫と共働きの妻の家庭に起こる問題を取り上げています。ご覧になった人もいらつしやるかもしれませぬ。他にも、女性社員に偏見を持つ課長がいる職場の風景を描いた『あなたの職場はどうですか』という劇もあります。今後、上演する機会もあると思いますので、ぜひご覧いただき、男女共同参画や人権について考えるきっかけにしてください。

また、熊本地方事務局阿蘇大津支局では人権擁護委員が交替で人権相談に当たっています。相談日は毎週月・水・金曜日の午前9時～午後4時で、電話でも面接でも受け付けます。連絡先は☎(293)2272です。その他、年4回、合志市内2カ所で相談所を開設しています。

地下水を採取する皆さんへ
お知らせとお願い
熊本市圏は水道水のほとんどを地下水でまかなっている全国でも非常に珍しい地域で、本市の水道水源もすべて地下水です。しかし近年、地下水位の低下や水質の悪化が見られるなど、地下水保全は緊急の課題となっています。

そこで県では「熊本県地下水保全条例」に基づき、地下水を採取する採取者は地下水採取量報告書の提出を義務付けています。これは地下水の保全のため採取量を把握するための重要な報告書です。毎年3月下旬から4月上旬にかけて、報告書様式を送付しています。4月末日までに環境衛生課（合志庁舎）まで提出をお願いします。

なお、採取量が0m³の場合でも提出が必要で、地下水採取者の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

●提出・問い合わせ先
環境衛生課（合志庁舎）
☎(248) 1202

地ブラ事務局 が行く!

弁天山 (和菓子) シリーズ 第9弾

しょうが風味とこしあんの甘さをお楽しみください。

生産者の堤さんに 突撃インタビューしました!



- Q1. 認証品に選ばれ、お客さんの反応は?
A1. 認証品に選ばれることで、合志市の広報紙・協議会ホームページ、新聞などに掲載され、それを見て来られるお客様の数が増えました。
- Q2. ブランド推進協議会に期待することは?
A2. 「弁天山」が認証されたことで、お客様から『地元の山・弁天山を知りました』とお聞きしました。これからは、合志市のイメージを連想させるような特産品を認証してもらい、市の活性化につなげてもらいたいと願います。

●ご注文・問い合わせ先
有限会社 大盛堂 担当者 堤 公一
合志市須屋672-16 ☎344-8124 FAX 344-5587

今回は、厳選された材料、天然素材を生かしたお菓子作りを基本に、すべて手作業でおいしいお菓子を作っている和洋菓子工房の(有)大盛堂をご紹介します。

●販売価格 1個 168円(税込)
1箱(6個入り) 1,200円(税込)



地元の山「弁天山」を型どって焼き上げたお菓子です。生地には地元産のしょうがを使い、こしあんを包みました。第25回全国菓子大博覧会で橘花栄光賞を受賞しているふるさとを感じるお菓子です。

問い合わせ先 合志市特産品地域ブランド推進協議会(合志庁舎 商工振興課内)
☎242-1270 FAX248-1888 Eメール kinasse-koshi@city.koshi.lg.jp